

地域連携 学生フォーラム in 大阪 2015

みちしるべ
-地域と共に学ぶ連携の道標-

【趣旨】大学コンソーシアム大阪では、会員校の地域での課題解決に取り組む学生の研究活動（ゼミ）の発表交流会を開催します。学生の地域連携に取り組む意識の高揚と地域連携活動の情報を会員大学や自治体関係者等と共有・発信する機会とし、地域連携の活発化を目指します。

参加費：無料!

対象：どなたでも
事前申込制
(定員 100名)

「チキとの関わり事業」って何!?

学生の発表を聞きにきませんか?
他大学・他分野の学生との交流は
きっと刺激的☆



日時：2015年10月18日(日)

- ・フォーラム 10:00~16:30
- ・交流会 16:30~17:30

会場：難波御堂筋ホール 9A



★参加ご希望の方はメールでお申込ください(申込締切：10/16(金)17:00)★

- ・メールアドレス：chiren@consortium-osaka.gr.jp
- ・件名には「地域連携学生フォーラム2015」と記載してください
- ・本文には以下内容を記載してください

- ① 氏名(漢字とフリガナ)
- ② 郵便番号
- ③ 住所
- ④ メールアドレス
- ⑤ 所属先・職名(学生の場合は大学名・学部・専攻・学年)

※申し込みの際にお送りいただきました個人情報は、本件に関するご連絡以外では使用しません

※3日以内(土日祝は除く)に大学コンソーシアム大阪から返信メールが無い場合はお問合せ下さい

【問合せ先】 特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪(事務局)
TEL: 06-6344-9560 (※平日(月~金) 9:30~17:30)

発表内容 ※発表は20分

10:10~	すさみ町における過疎地域活性化支援プロジェクト 担当教員：浅野 英一 (摂南大学 外国語学部 教授)	少子高齢化と過疎化について、学生自身が過疎地域で活動し課題を発見し、大学生らしい発想と行動力で取り組んでいる。農業・ふるさと創生・観光の3つを柱にし「よそ者、若者、大学生」という立場でプロジェクトを展開している。
10:30~	地域の自然と地元住民との繋がり 担当教員：前迫 ゆり (大阪産業大学 人間環境学部 教授)	私たちのプロジェクトでは、川や山での生態系調査や田畑の維持・保全を目的として、人と自然の共生をキーワードとして、活動している。また、地域のイベントにも参加し、地元住民との交流や情報発信を行っている。
10:50~	<ul style="list-style-type: none"> 熊野本宮子どもエコ☆ツアー 楽しいんやさかい大和川水辺の楽校 担当教員：安田 忠典 (関西大学 人間健康学部 准教授)	2010年、堺市に人間健康学部を設置する際、環境モデル都市堺が誇る市民向け環境教育機関である堺エコロジー大学に若者向けのコンテンツが少ないという課題があったのに対して、体験学習法を専攻する安田ゼミの学生が堺市の小学生を世界遺産の地熊野本宮へ3泊4日のエコツアーへ誘うというプログラムを開発した。
11:10~	見山の郷 商品開発プロジェクト 担当教員：村上 喜郁 (追手門学院大学 経営学部 准教授)	「見山の郷 商品開発プロジェクト」は、追手門学院大学生が地域に興味を持ち、マネジメントのPBL活動を通じて、その人々・自治体・企業などをつなぐ「懸け橋」となり、地域の問題の解決を試みるものである。
11:40~	ICTインフラ構築を通じた観光資源PRとシステムデザイン能力の開発 担当教員：山内 雪路 (大阪工業大学 情報科学部 教授)	奈良県川上村の観光資源PRを担うシステム制作を行っている。村内の桜の名所にライブ中継カメラを設置しているほか、セミナーハウス等へのフリーWiFiスポット設置、山奥になる氷瀑の観測ネットワーク設置などに挑戦中である。
12:00~	地震で倒壊する危険性のある老朽化したブロック塀を間伐材と地場木材を活動した木の塀「スーパーフェンス」で代替するプロジェクト 担当教員：亀井 克之 (関西大学 社会安全学部 教授)	地震で倒壊する危険性のある老朽化したブロック塀を間伐材と地場もくざを活用した木の塀「スーパーフェンス」で代替するプロジェクト。防災と地球環境問題の両方に役立つプロジェクトに、マーケティングという観点から、参画、協力し、その試みについてプレゼンする。
13:20~	地域と子ども・大学生の繋がりを生身で感じる道草寺子屋 担当教員：久 隆浩 (近畿大学 総合社会学部 教授)	本研究事業は地元で運営している道草寺子屋の事業を基にしている。それは学校放課後事業や学習塾事業または地域活動への参加が主である。それらの実践から子ども教育・地域との繋がりの在り方を分析した内容を発表する。
13:40~	e-yan プロジェクト ～産学連携による大阪のまち活性化活動～ 担当教員：大野 司郎 (近畿大学 総合社会学部 講師)	「e-yan(イーヤン)」とは大阪弁で「いいね」という言葉から来ており、大阪の「イーヤン」な企業、「イーヤン」な人を紹介していくプロジェクトである。
14:00~	地元食材を観光客向けの名物料理に仕立てることに よるブランド化への挑戦 「料理を作り、料理で創る立山ブランド」 担当教員：高橋 一夫 (近畿大学 経営学部 教授)	富山県立山町主催の地域活性化策を提案するコンペティションに参加し、町の特産物を使った名物料理を町民が創りだすことによって、町の新ブランドを展開する企画を、立山町町長をはじめとする審査員にプレゼンテーションを行った。
14:20~	大阪おみやげ「かるた」のデザイン、 パッケージデザイン 担当教員：門脇 英純 (大阪成蹊大学 芸術学部 教授)	株式会社カワキタと株式会社せのやとコラボし、新たな“大阪お土産モン”の誕生に向けたプロジェクトを発足。製品コンセプト、ターゲット層等の分析からよみ札、カルタイラスト・デザイン、商品パッケージの製作を行った。
14:50~	官学連携次世代環境教育教材開発プロジェクト 担当教員：門脇 英純 (大阪成蹊大学 芸術学部 教授)	長岡京市(京都府)と連携し、全国で使える子ども向けの環境学習教材「デジタル紙芝居」5作品を制作。また、クラウドファンディングを活用し、デジタル紙芝居をもとにした絵本を製作するプロジェクトを進行している。平成28年度には、京都府を中心に学校、図書館等に配布する計画。
15:10~	河内木綿文化を世界に広め、地域を活性化する 担当教員：呉 志賢 (大阪経済法科大学 教養部 教授)	大阪経済法科大学 BLP 呉ゼミ「河内木綿プロジェクト」が、地元八尾市の伝統文化である河内木綿文化を学生の新しい発想で現代に復活させ、世界に発信することで、地域に貢献していく活動をしている。
15:30~	実践のなかで組織行動・人的資源管理を学修する 担当教員：山路 崇正 (大阪経済法科大学 経済学部 講師)	山路ゼミナールでは、擬似的に会社組織を設立し社長(学生リーダー)が中心となり大阪市天王寺区「玉造 幸村ロード」の商店街活性化プロジェクトを通じて実践のなかで組織行動・人的資源管理を学修している。